

保育所施設整備事業 城下保育園長寿命化工事

上田市都市建設部建築課
有限会社 設計工房風の色

図番	図面名称	図番	図面名称
A-00	表紙・図面リスト	A-13	外階段図
A-01	建築改修工事 特記仕様書 1		
A-02	建築改修工事 特記仕様書 2		
A-03	建築改修工事 特記仕様書 3		
A-04	建築改修工事 特記仕様書 4		
A-05	建築改修工事 特記仕様書 5		
A-06	敷地案内図・配置図		
A-07	仕上表（現況・改修）		
A-08	1階平面図		
A-09	2階平面図		
A-10	屋根伏せ図		
A-11	立面図		
A-12	建具表・各詳細図		

[illegible]

7. とい	この材料 ・ 配管用銅管及び排水管継手 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管及び同質継手 [3.8.2. 3] ・ 表面処理銅板 () ・ ステンレス鋼板 ・ 図示 とい受け金物及び足金物の材種、形状及び留付け間隔 ※改修標仕表3.8.2による 多雪地域の軒どりの留付け間隔の適用 ・ あり ・ なし 防露材のホルムアルデヒドの放数量 ※F☆☆☆☆ 既存のといその他の撤去、降雨に対する養生方法 ※ 図示 銅管製といの防露巻き ・ 適用する (施工箇所及び工法 ※ 改修標仕表3.8.4による ・ 図示) たてどい受金物の取付け ※ 図示 ルーフドレン 取付け ※ 水はけがよく、床面より下げ、周囲の隙間にモルタルを充填 品質・性能 ※ 建築材料・設備機材等々品質性能評価による評価名簿記載の製品	3. 欠損部 改修工法	・ 充填工法 [4.1.4][4.3.5][4.3.9. 10] 充填材料 ・ エポキシ樹脂モルタル ・ ポリマーセメントモルタル ・ モルタル塗替え工法 モルタル ・ 現場調合材料 ・ 既調合材料 既製目地材 ・ 使用する (形状) 仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処理 ※ 図示	5. 浮き部 改修工法	[4.1.4][4.2.2][4.4.9～15]		⑤ 建具 改修工 事 つ づ き	② アルミニウム製建具	性能等級 [5.2.2～5] 耐風圧性、気密性及び水密性の等級 外部に面する建具 ・ A種 (建具符号: ※ 建具表による) ・ B種 (建具符号: ※ 建具表による) ・ C種 (建具符号: ※ 建具表による) 防音ドアセット、防音サッシ ・ 適用する 遮音性の等級 () ・ 適用しない (建具符号: ※ 建具表による) 断熱ドアセット、断熱サッシ ・ 適用する 断熱性の等級 () ・ 適用しない (建具符号: ※ 建具表による) 耐震ドアセット ・ 適用する 面変形追随性の等級 () ・ 適用しない (建具符号: ※ 建具表による) 枠の見込み寸法 ・ 70 ・ 100 ・ 建具表による 表面処理 外部に面する建具 ・ BB-1種 ・ BB-2種 皮膜等の種類 (※ 改修標仕表5.2.2による) 着色 (・ 標準色 ・ 特注色) ・ BC-1種 ・ BC-2種 皮膜等の種類 (※ 改修標仕表5.2.2による) 着色 (・ 標準色 ・ 特注色) 結露水の処理方法 ※ 排水式 ・ 水貯め式 水切り板、ぜん板 ※ 図示 品質・性能 ※ 建築材料・設備機材等々品質性能評価による評価名簿記載の製品																																																																																						
	8. アルミニウム製笠木		種類 ・ オープン形式 [3.9.2. 3] ・ 250形 ・ 300形 ・ 350形 ・ 板材折曲げ形 (本体幅: mm 板厚: ※ 2.0mm ・ mm) ・ シール形式 板材折曲げ形 (本体幅: mm 板厚: ※ 2.0mm ・ mm) 表面処理 種類 ()種 皮膜等の種類 (※ 改修標仕表5.2.2による) 着色 (・ アンバー ・ ブロンズ ・ ブラック系 ・ ステンカラー) 既存笠木等の撤去 ・ 行う (範囲: ・ 図示) ・ 行わない 下地補修の工法 ※ 図示 板材折曲げ形の笠木の取付方法 ※ 図示 笠木の固定金具の工法等 耐風圧性能 (建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法) ※ 適用する (一般共通事項により製造所の指定による) ・ 適用しない		工法 [4.1.4][4.3.5][4.3.11～16] <table><tr><th rowspan="2">工法の種類</th><th colspan="2">アンカーピン 本数 (本/㎡)</th><th colspan="2">注入口箇所数 (箇所/㎡)</th><th rowspan="2">ピン固定用・ 注入口付ピン への注入量 (ml/箇所)</th><th rowspan="2">注入口への 注入量 (ml/箇所)</th></tr><tr><th>一般部</th><th>指定部</th><th>一般部</th><th>指定部</th></tr><tr><td>・ アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法</td><td>※ 16</td><td>※ 25</td><td>—</td><td>—</td><td>※ 25</td><td>—</td></tr><tr><td>・ アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法</td><td>※ 13</td><td>※ 20</td><td>※ 12</td><td>※ 20</td><td>—</td><td>※ 25</td></tr><tr><td>・ アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法</td><td>※ 13</td><td>※ 20</td><td>※ 12</td><td>※ 20</td><td>—</td><td>※ 50</td></tr><tr><td>・ 注入口付アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法</td><td>※ 9</td><td>※ 16</td><td>—</td><td>—</td><td>※ 25</td><td>—</td></tr><tr><td>・ 注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法</td><td>※ 9</td><td>※ 16</td><td>※ 9</td><td>※ 16</td><td>※ 25</td><td>※ 25</td></tr><tr><td>・ 注入口付アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法</td><td>※ 9</td><td>※ 16</td><td>※ 9</td><td>※ 16</td><td>※ 25</td><td>※ 50</td></tr><tr><td>・ 充填工法</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>・ モルタル塗替え工法</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr></table> (指定部とは見上げ面、庇の鼻、まぐさ隅角部分等を指す) アンカーピン本数及び注入口箇所数の特例 ※ 浮き面積が1㎡以下の場合及び扶輪部 (幅200mm以下で等状にはく離している幅の狭い箇所) では 該当する改修標仕の項[4.3.11～15]の(1)の指示に従う 材料 アンカーピン ※ ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径4mmの丸棒で、全ネジ切り加工をしたもの 注入口付アンカーピン ※ ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径外径6mm ・ タイル部分張替工法・タイル張替工法 ※ 4.欠損部改修工法による 充填工法・モルタル塗替え工法 ※ 3.欠損部改修工法による	工法の種類			アンカーピン 本数 (本/㎡)		注入口箇所数 (箇所/㎡)		ピン固定用・ 注入口付ピン への注入量 (ml/箇所)	注入口への 注入量 (ml/箇所)	一般部	指定部	一般部	指定部	・ アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	※ 16	※ 25	—	—	※ 25	—	・ アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※ 13	※ 20	※ 12	※ 20	—	※ 25	・ アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法	※ 13	※ 20	※ 12	※ 20	—	※ 50	・ 注入口付アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	※ 9	※ 16	—	—	※ 25	—	・ 注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※ 9	※ 16	※ 9	※ 16	※ 25	※ 25	・ 注入口付アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法	※ 9	※ 16	※ 9	※ 16	※ 25	※ 50	・ 充填工法	—	—	—	—	—	—	・ モルタル塗替え工法	—	—	—	—	—	—	アンカーピン本数及び注入口箇所数の特例 ※ 浮き面積が1㎡以下の場合及び扶輪部 (幅200mm以下で等状にはく離している幅の狭い箇所) では 箇所数は該当する改修標仕の項[4.3.11～15]の(1)の指示に従う ※ 穿孔位置がタイル陶片にかかる場合は、穿孔位置を近傍のタイル目地部分に釣り合いを保ちながら 移動する 材料 アンカーピン ※ ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径4mmの丸棒で、全ネジ切り加工をしたもの 注入口付アンカーピン ※ ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径外径6mm ・ タイル部分張替工法・タイル張替工法 ※ 4.欠損部改修工法による																				
工法の種類	アンカーピン 本数 (本/㎡)		注入口箇所数 (箇所/㎡)		ピン固定用・ 注入口付ピン への注入量 (ml/箇所)		注入口への 注入量 (ml/箇所)																																																																																								
	一般部	指定部	一般部	指定部																																																																																											
・ アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	※ 16	※ 25	—	—	※ 25	—																																																																																									
・ アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※ 13	※ 20	※ 12	※ 20	—	※ 25																																																																																									
・ アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法	※ 13	※ 20	※ 12	※ 20	—	※ 50																																																																																									
・ 注入口付アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	※ 9	※ 16	—	—	※ 25	—																																																																																									
・ 注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※ 9	※ 16	※ 9	※ 16	※ 25	※ 25																																																																																									
・ 注入口付アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法	※ 9	※ 16	※ 9	※ 16	※ 25	※ 50																																																																																									
・ 充填工法	—	—	—	—	—	—																																																																																									
・ モルタル塗替え工法	—	—	—	—	—	—																																																																																									
④ 外壁改修工事	共通	1. 施工数量調査 調査範囲 ・ 外壁改修範囲 ・ 図示の範囲 調査内容 ※ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。 ※モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上げについては浮き部分を表面に表示し、また欠損部の形状寸法等を調査する。 ※コンクリート表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。 ※塗仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。 また、既存塗膜と新規上塗材との適合性を確認する。 既存部分の破壊を行った場合の補修方法 ・ 図示 調査報告書の部数 ・ 2部	4-3 タイル張り仕上げ外壁	1. 既存タイル張りの撤去 [4.4.2] ・ 外壁タイル張り全面 ・ 図示の範囲 撤去範囲 ※ 下地モルタルまで ・ 張付けモルタルまで ・ タイルのみ 2. タイルの形状寸法等 [4.4.5] 補修又は張替に使用するタイル <table><tr><th rowspan="2">主な用途による区分 (施工箇所)</th><th rowspan="2">形状寸法 (mm)</th><th colspan="3">吸水率による区分</th><th colspan="2">うわぐすり</th><th rowspan="2">役物</th><th rowspan="2">色</th><th rowspan="2">再生材の適用</th><th rowspan="2">耐凍害性</th><th rowspan="2">備考</th></tr><tr><th>I 類</th><th>II 類</th><th>III 類</th><th>施 工 法</th><th>無 用</th></tr><tr><td></td><td></td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td></td></tr></table> 標準的な曲がりの役物は一体成形とする 試験張り ・ 行う ・ 行わない 見本焼き ・ 行う ・ 行わない 品質・性能 ※ 建築材料・設備機材等々品質性能評価による評価名簿記載の製品	主な用途による区分 (施工箇所)	形状寸法 (mm)	吸水率による区分			うわぐすり		役物	色	再生材の適用	耐凍害性	備考	I 類	II 類	III 類	施 工 法	無 用			・	・	・	・	・	・	・	・	・				・	・	・	・	・	・	・	・	・				・	・	・	・	・	・	・	・	・				・	・	・	・	・	・	・	・	・		3. ひび割れ部改修工法 [4.1.4][4.4.5. 6] 改修箇所 ※ 既存タイル張り面 ・ 既存タイル撤去面 (・ コンクリート面 ・ モルタル面) 工法 ・ 樹脂注入工法 <table><tr><th>工法の種類</th><th>ひび割れ幅 (mm)</th><th>注入口間隔 (mm)</th><th>注入量 (ml/m)</th></tr><tr><td>※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.2 以上～1.0 以下</td><td>※ 200～300</td><td>・ 130</td></tr><tr><td>・ 自動式エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.2 以上～0.3 未満</td><td>・ 50～100</td><td>・ 40</td></tr><tr><td>・ 機械式エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.3 以上～0.5 未満</td><td>・ 100～200</td><td>・ 70</td></tr><tr><td>・ 0.5 以上～1.0 以下</td><td>・ 150～250</td><td>・ 130</td><td></td></tr></table> エポキシ樹脂 ※ 低粘度形 (0.5mm未満) ※ 中粘度形又は高粘度形 (0.5mm以上) コア抜き検査 抜き取り個数 ※ 長さ500mmごと及びその端数につき1個 抜き取り部の補修方法 ※ 図示 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シーリング材充填 (1.0mmを超え挙動するひび割れ) 充填材料 ※ 1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ポリマーセメントモルタルの充填 ※ 行う ・ 行わない ・ 可とう性エポキシ樹脂充填 (1.0mm未満の挙動するひび割れ及び1.0mm以上の挙動しないひび割れ) ・ シール工法 (ひび割れ0.2mm未満) 材料 ・ パテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂	工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (ml/m)	※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2 以上～1.0 以下	※ 200～300	・ 130	・ 自動式エポキシ樹脂注入工法	0.2 以上～0.3 未満	・ 50～100	・ 40	・ 機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3 以上～0.5 未満	・ 100～200	・ 70	・ 0.5 以上～1.0 以下	・ 150～250	・ 130		4. 欠損部改修工法 [4.1.4][4.4.5. 7. 8] 張付け材料 ・ ポリマーセメントモルタル ・ 外装壁タイル接着剤 (JIS A 5557による) (※ 一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系 ・ 一液反応硬化形ウレタン樹脂系) 目地詰め ※ 行う ・ 行わない 1か所当たりの張替え面積が0.25㎡を超える場合 ※ 図示 ・ タイル張替工法 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地位置 ※ 改修標仕表4.4.2による ・ 図示 コンクリート素地面の下地処理 ※ 目貫し工法 ・ セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り 下地モルタル塗りの接着力試験 ・ 行う ・ 行わない タイル張りの工法 外装タイル ・ 密着張り ・ 改良圧着張り ユニットタイル ・ マスク張り ・ モザイクタイル張り ・ 既調合モルタル モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を 予め工場において所定の割合に配合した材料とする。 品質・性能 ※ 建築材料・設備機材等々品質性能評価による評価名簿記載の製品 ・ 既調合目地材 品質・性能 ※ 建築材料・設備機材等々品質性能評価による評価名簿記載の製品 ・ 有機系接着剤による陶磁器質タイル張り 下地調整材塗りの接着力試験 ・ 行う ・ 行わない シーリング材の種類 打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地 ※ ポリウレタン系 伸縮調整目地その他の目地 ※ 変成シリコーン系 タイルの種類 ・ 外装タイル ・ ユニットタイル 目地詰め ※ 行う ・ 行わない	3. マスチック塗材塗り [4.6.2][表4.6.1] 仕上り形状及び工法 [4.7.2.3][表4.7.1] ・ 凹凸状 ・ 凸凹処理 (吹付け) ・ ゆず肌状 ・ さざ波状 (ローラー塗り) 模様材の種類 ※ 製造所の指定による 仕上塗料の種類 ※ 製造所の指定による 仕上塗料の耐水性 ※ 耐水性3種 下地塗料の種類 ・ 用いる ・ 用いない	4. 外壁用塗膜防水材 [4.7.2.3][表4.7.1] 仕上り形状及び工法 [4.7.2.3][表4.7.1] ・ 凹凸状 ・ 凸凹処理 (吹付け) ・ ゆず肌状 ・ さざ波状 (ローラー塗り) 模様材の種類 ※ 製造所の指定による 仕上塗料の種類 ※ 製造所の指定による 仕上塗料の耐水性 ※ 耐水性3種 下地塗料の種類 ・ 用いる ・ 用いない	⑤ 建具 改修工 事	③ ① 一般事項 建具改修工事
		主な用途による区分 (施工箇所)	形状寸法 (mm)	吸水率による区分			うわぐすり		役物	色	再生材の適用						耐凍害性	備考																																																																													
I 類	II 類			III 類	施 工 法	無 用																																																																																									
		・	・	・	・	・	・	・	・	・																																																																																					
		・	・	・	・	・	・	・	・	・																																																																																					
		・	・	・	・	・	・	・	・	・																																																																																					
		・	・	・	・	・	・	・	・	・																																																																																					
工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (ml/m)																																																																																												
※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2 以上～1.0 以下	※ 200～300	・ 130																																																																																												
・ 自動式エポキシ樹脂注入工法	0.2 以上～0.3 未満	・ 50～100	・ 40																																																																																												
・ 機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3 以上～0.5 未満	・ 100～200	・ 70																																																																																												
・ 0.5 以上～1.0 以下	・ 150～250	・ 130																																																																																													
① 既存タイル張りの撤去 [4.4.2] ・ あり (撤去部分 ・ 全面 ・ 図示) ○なし	劣化モルタル層の撤去 ・ あり (撤去部分 ・ 全面 ・ 図示) ○なし	4. 欠損部改修工法 [4.1.4][4.2.8] 充填材料 ・ エポキシ樹脂モルタル ・ ポリマーセメントモルタル	3. マスチック塗材塗り [4.6.2][表4.6.1] 仕上り形状及び工法 [4.7.2.3][表4.7.1] ・ 凹凸状 ・ 凸凹処理 (吹付け) ・ ゆず肌状 ・ さざ波状 (ローラー塗り) 模様材の種類 ※ 製造所の指定による 仕上塗料の種類 ※ 製造所の指定による 仕上塗料の耐水性 ※ 耐水性3種 下地塗料の種類 ・ 用いる ・ 用いない	4. 外壁用塗膜防水材 [4.7.2.3][表4.7.1] 仕上り形状及び工法 [4.7.2.3][表4.7.1] ・ 凹凸状 ・ 凸凹処理 (吹付け) ・ ゆず肌状 ・ さざ波状 (ローラー塗り) 模様材の種類 ※ 製造所の指定による 仕上塗料の種類 ※ 製造所の指定による 仕上塗料の耐水性 ※ 耐水性3種 下地塗料の種類 ・ 用いる ・ 用いない	⑤ 建具 改修工 事	③ ① 一般事項 建具改修工事																																																																																									
モルタル塗り仕上げ外壁	② ひび割れ部改修工法 [4.1.4][4.3.5～8] <table><tr><th>工法の種類</th><th>ひび割れ幅 (mm)</th><th>注入口間隔 (mm)</th><th>注入量 (ml/m)</th></tr><tr><td>※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.2 以上～1.0 以下</td><td>※ 200～300</td><td>・ 130</td></tr><tr><td>・ 自動式エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.2 以上～0.3 未満</td><td>・ 50～100</td><td>・ 40</td></tr><tr><td>・ 機械式エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.3 以上～0.5 未満</td><td>・ 100～200</td><td>・ 70</td></tr><tr><td>・ 0.5 以上～1.0 以下</td><td>・ 150～250</td><td>・ 130</td><td></td></tr></table> エポキシ樹脂 ※ 低粘度形 (0.5mm未満) ※ 中粘度形又は高粘度形 (0.5mm以上) コア抜き検査 抜き取り個数 ※ 長さ500mmごと及びその端数につき1個 抜き取り部の補修方法 ※ 図示 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シーリング材充填 (1.0mmを超え挙動するひび割れ) 充填材料 ※ 1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ポリマーセメントモルタルの充填 ※ 行う ・ 行わない ・ 可とう性エポキシ樹脂充填 (1.0mm未満の挙動するひび割れ及び1.0mm以上の挙動しないひび割れ) ・ シール工法 (ひび割れ0.2mm未満) 材料 ・ パテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂	工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (ml/m)	※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2 以上～1.0 以下	※ 200～300	・ 130	・ 自動式エポキシ樹脂注入工法	0.2 以上～0.3 未満	・ 50～100	・ 40	・ 機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3 以上～0.5 未満	・ 100～200	・ 70	・ 0.5 以上～1.0 以下	・ 150～250	・ 130		② ひび割れ部改修工法 [4.1.4][4.3.5～8] <table><tr><th>工法の種類</th><th>ひび割れ幅 (mm)</th><th>注入口間隔 (mm)</th><th>注入量 (ml/m)</th></tr><tr><td>※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.2 以上～1.0 以下</td><td>※ 200～300</td><td>・ 130</td></tr><tr><td>・ 自動式エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.2 以上～0.3 未満</td><td>・ 50～100</td><td>・ 40</td></tr><tr><td>・ 機械式エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.3 以上～0.5 未満</td><td>・ 100～200</td><td>・ 70</td></tr><tr><td>・ 0.5 以上～1.0 以下</td><td>・ 150～250</td><td>・ 130</td><td></td></tr></table> エポキシ樹脂 ※ 低粘度形 (0.5mm未満) ※ 中粘度形又は高粘度形 (0.5mm以上) コア抜き検査 抜き取り個数 ※ 長さ500mmごと及びその端数につき1個 抜き取り部の補修方法 ※ 図示 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シーリング材充填 (1.0mmを超え挙動するひび割れ) 充填材料 ※ 1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ポリマーセメントモルタルの充填 ※ 行う ・ 行わない ・ 可とう性エポキシ樹脂充填 (1.0mm未満の挙動するひび割れ及び1.0mm以上の挙動しないひび割れ) ・ シール工法 (ひび割れ0.2mm未満) 材料 ・ パテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂	工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (ml/m)	※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2 以上～1.0 以下	※ 200～300	・ 130	・ 自動式エポキシ樹脂注入工法	0.2 以上～0.3 未満	・ 50～100	・ 40	・ 機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3 以上～0.5 未満	・ 100～200	・ 70	・ 0.5 以上～1.0 以下	・ 150～250	・ 130		2. 欠損部改修工法 [4.1.4][4.2.8] 充填材料 ・ エポキシ樹脂モルタル ・ ポリマーセメントモルタル	3. マスチック塗材塗り [4.6.2][表4.6.1] 仕上り形状及び工法 [4.7.2.3][表4.7.1] ・ 凹凸状 ・ 凸凹処理 (吹付け) ・ ゆず肌状 ・ さざ波状 (ローラー塗り) 模様材の種類 ※ 製造所の指定による 仕上塗料の種類 ※ 製造所の指定による 仕上塗料の耐水性 ※ 耐水性3種 下地塗料の種類 ・ 用いる ・ 用いない	4. 外壁用塗膜防水材 [4.7.2.3][表4.7.1] 仕上り形状及び工法 [4.7.2.3][表4.7.1] ・ 凹凸状 ・ 凸凹処理 (吹付け) ・ ゆず肌状 ・ さざ波状 (ローラー塗り) 模様材の種類 ※ 製造所の指定による 仕上塗料の種類 ※ 製造所の指定による 仕上塗料の耐水性 ※ 耐水性3種 下地塗料の種類 ・ 用いる ・ 用いない	⑤ 建具 改修工 事	③ ① 一般事項 建具改修工事																																																
		工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (ml/m)																																																																																										
※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2 以上～1.0 以下	※ 200～300	・ 130																																																																																												
・ 自動式エポキシ樹脂注入工法	0.2 以上～0.3 未満	・ 50～100	・ 40																																																																																												
・ 機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3 以上～0.5 未満	・ 100～200	・ 70																																																																																												
・ 0.5 以上～1.0 以下	・ 150～250	・ 130																																																																																													
工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (ml/m)																																																																																												
※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2 以上～1.0 以下	※ 200～300	・ 130																																																																																												
・ 自動式エポキシ樹脂注入工法	0.2 以上～0.3 未満	・ 50～100	・ 40																																																																																												
・ 機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3 以上～0.5 未満	・ 100～200	・ 70																																																																																												
・ 0.5 以上～1.0 以下	・ 150～250	・ 130																																																																																													
モルタル塗り仕上げ外壁	③ 既存タイル張りの撤去 [4.4.2] ・ あり (撤去部分 ・ 全面 ・ 図示) ○なし	劣化モルタル層の撤去 ・ あり (撤去部分 ・ 全面 ・ 図示) ○なし	4. 欠損部改修工法 [4.1.4][4.2.8] 充填材料 ・ エポキシ樹脂モルタル ・ ポリマーセメントモルタル	3. マスチック塗材塗り [4.6.2][表4.6.1] 仕上り形状及び工法 [4.7.2.3][表4.7.1] ・ 凹凸状 ・ 凸凹処理 (吹付け) ・ ゆず肌状 ・ さざ波状 (ローラー塗り) 模様材の種類 ※ 製造所の指定による 仕上塗料の種類 ※ 製造所の指定による 仕上塗料の耐水性 ※ 耐水性3種 下地塗料の種類 ・ 用いる ・ 用いない	4. 外壁用塗膜防水材 [4.7.2.3][表4.7.1] 仕上り形状及び工法 [4.7.2.3][表4.7.1] ・ 凹凸状 ・ 凸凹処理 (吹付け) ・ ゆず肌状 ・ さざ波状 (ローラー塗り) 模様材の種類 ※ 製造所の指定による 仕上塗料の種類 ※ 製造所の指定による 仕上塗料の耐水性 ※ 耐水性3種 下地塗料の種類 ・ 用いる ・ 用いない	⑤ 建具 改修工 事	③ ① 一般事項 建具改修工事																																																																																								
		④ 既存タイル張りの撤去 [4.4.2] ・ あり (撤去部分 ・ 全面 ・ 図示) ○なし	劣化モルタル層の撤去 ・ あり (撤																																																																																												

8. 木製建具

建具材の加工、組立時の含水率 ※A種 ・ B種 [5.7.2~4]
建物内部の木製建具に使用する材料、接着剤、塗料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆又は規制対象外
・ フラッシュ戸
接着の程度 水掛かり箇所(※1類) その他(※2類)
表面材の合板の種類

合板の種類	規格等	表面板の厚さ(mm)	備考
・普通合板	板面の品質 樹種名(広葉樹 ※1等・針葉樹)	※2.5以上	
・天然木化粧合板	樹種名()	※3.2以上	
・特殊加工化粧合板	化粧加工の方法(・オーバーレイ・プリント・塗装) 表面性能(・F・FI・II・SW)タイプ	※2.4以上	
・MDF	表裏面の状態による区分() 曲げ強さによる区分() 接着剤による区分() 難燃性による区分()		

召し合わせかまちのいんろう付け ・なし ・あり
・かまち戸 かまち樹種() 鉄板樹種()
見込み寸法 ※36mm ・建具表による
・ふすま 張りの種類(・I型 ・ II型)
上張り ・鳥の子 ・新島の子又はビニル紙程度 押入等の裏側は雲花紙程度
縁仕上 ・塗り縁 ・生地縁(素地) ・生地縁(ウレタンクリヤー塗装)
見込み寸法 ※19.5mm ・建具表による
・戸ぶすま 見込み寸法 ※30mm ・建具表による
・紙張り障子 見込み寸法 ※30mm ・建具表による
枠、くつずりの材料 ※建具表による

⑨ 建具用金物

金物の種類及び見え掛り部の材質 ※改修標準表5.8.11による
建具に使用する丁番 ※改修標準表5.8.2~4による
木製建具に使用する戸車とレール ※改修標準表5.8.5による
握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付位置 ・建具表による
・錠前類
シリンダーサイド ※外側シリンダー、内側サムターン ・建具表による
実用性能項目(JIS A 1541-I及びJIS A 1541-IIによる)
耐じん性能 ・グレード1 ○グレード2
デッドボルトの出寸法 ○グレード3 (17mm)以上
その他の性能項目はグレード3とする。また錠による施設が可能なものはマスターキー、グランドマスターキー、コンストラクションキーなどのキーステムが構築できるものとする。
品質・性能 ※建築材料・設備機材等等品質性能評価による評価名簿記載の製品
・クローザー類
ディレードアクション(遅延閉)機能 ・建具表による ・あり ・なし
品質・性能 ※建築材料・設備機材等等品質性能評価による評価名簿記載の製品
キーステムの種類、構成 ・錠製作時に監査員より指示する
マスターキー ・製作する ・製作しない
鍵の引き渡し
※錠1に対し対応する鍵3本を1組とし、室名札を付け、直接引き渡す
・錠1に対し対応する鍵3本を1組とし、室名札を付け、鍵箱に収納して引き渡す

[5.8.1, 2]

10. 自動ドア開閉機構

自動ドア
・SSLD-1 ※改修標準表5.9.1による
・SSLD-2
・DSDL-1
・DSDL-2
・車椅子使用者用便所出入口
・図示
品質・性能 ※建築材料・設備機材等等品質性能評価による評価名簿記載の製品

性能 ※改修標準表5.10.1による
品質・性能 ※建築材料・設備機材等等品質性能評価による評価名簿記載の製品

[5.9.2, 3]

[5.10.3]

[5.11.2, 3]

シャッターの種類 耐風圧強度
・管理用シャッター 耐風圧強度()N/m²
・外壁用防火シャッター 耐風圧強度()N/m²
・屋内用防火シャッター
・屋内用防煙シャッター
開閉機能による種類 ※上部電動式(手動併用) ・上部手動式
電動式シャッターの急降下制動装置、急降下停止装置、障害物感知装置の設置場所 ※図示
屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止装置 ※図示
管理用シャッターのシャッターケース ・設ける ・設けない
スラット及びシャッターケース用鋼板
鋼板の種類 ・JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板) ・JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板)
めっきの付着量 ※Z12又はF12
ガイドレール、まぐさ、雨掛かり座板、座板カバー、スイッチボックス類の蓋
ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1又はSUS443J1
品質・性能 ※建築材料・設備機材等等品質性能評価による評価名簿記載の製品

[5.12.2~4]

開閉形式 ※手動式 ・上部電動式(手動併用)
耐風圧強度()N/m²
電動式シャッターの障害物感知装置の設置場所 ※図示
スラットの材質
・JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板) めっき付着量(※Z06又はF06)
・JIS G 3322(塗装溶融55%アルミニウム亜鉛合金めっき鋼板) めっき付着量(※AZ90)
スラットの形状 ・インターロッキング形 ・オーバーラッピング形
品質・性能 ※建築材料・設備機材等等品質性能評価による評価名簿記載の製品

[5.13.2, 3]

セクション材料による区分 耐風圧区分 開閉方式による区分 収納形式による区分 ガイドレールの材質
※ スチールタイプ ・125 ※ バランス式 ・スタンダード形 ※ 溶融亜鉛めっき鋼板
・ アルミニウムタイプ ・100 ・ チェーン式 ・ ローヘッド形
・ ファイバーグラスタイプ ・75 ・ 電動式 ・ ハイリフト形 ※ ステンレス鋼板
・ 50
障害物感知装置の設置場所 ※図示
品質・性能 ※建築材料・設備機材等等品質性能評価による評価名簿記載の製品

15. ガラス

・フロートガラス 厚さ(ミリ) ※図示
・磨き板ガラス 厚さ(ミリ) ※図示
・すり板ガラス 厚さ(ミリ) ※図示
・型板ガラス 厚さ(ミリ) ※図示
模様 ・製地 ・かすみ ・その他()
・網入板ガラス、線入板ガラス

種 類	板の表面の状態	網 種	厚さ(ミリ)
・網入板ガラス	・網入磨き板ガラス ・網入型板ガラス	・かく網 ・ひし網	※図示
・線入板ガラス	・線入磨き板ガラス ・線入型板ガラス		

・合わせガラス
材料板ガラス種類の組合せ
※ 建具表に図示
材料板ガラスの厚さの組合せ、合わせガラスの全体厚さ ※ 建具表に図示
材料板ガラス種類及び厚さの組合せ特性による種類 ・Ⅰ類 ・Ⅱ-Ⅰ類 ・Ⅱ-2類 ・Ⅲ類
・強化ガラス

材料板ガラスによる種類	厚さ(ミリ)	特性による種類
・フロート強化ガラス(※平面・曲面) ※図示	※4	Ⅰ類 ・Ⅲ類
・型板強化ガラス		
・熱線反射強化ガラス		

・熱線吸収板ガラス

板ガラスによる種類	厚さ(ミリ)	性能による種類
・熱線吸収フロート板ガラス	※図示	Ⅰ種 (5mm日射取得率0.8以下)
・熱線吸収磨き板ガラス		
・熱線吸収網入磨き板ガラス	※6.8	Ⅱ種 (5mm日射取得率0.7以下)
・熱線吸収線入磨き板ガラス		
・熱線吸収網入型板ガラス		

・複層ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ、複層ガラスの全体厚さ ※ 建具表に図示
断熱性による区分 (・T1・T2・T3・T4・T5・T6)
日射取得性及び日射遮蔽性による区分 (・G(日射熱取得率0.5以上) ・S(日射熱取得率0.49以下))
乾燥気体の種類 (・空気 ・アルゴン ・クリプトン ・ネオン)
・熱線反射ガラス

板ガラスによる種類	厚さ(ミリ)	日射遮へ性による区分	耐久性による区分
・フロート板ガラス	※図示	Ⅰ種 (日射熱取得率0.70以下) Ⅱ種 (日射熱取得率0.55以下) Ⅲ種 (日射熱取得率0.40以下)	A種 B種
・磨き板ガラス			
・熱線吸収フロート板ガラス			
・熱線吸収磨き板ガラス			
・平面強化ガラス			
・倍強度ガラス			
反折被膜面 ・内面 ・外面 映像調整 ・行わない ・行う			

・倍強度ガラス

名 称	材料板ガラスによる種類	厚さ(ミリ)	備 考
フロート倍強度ガラス	・フロート板ガラス ・磨き板ガラス ・熱線吸収フロート板ガラス ・熱線吸収磨き板ガラス	※図示	
熱線反射倍強度ガラス	・熱線反射ガラス		

ガラスの留め材及び溝の大きさ

建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ(mm)
アルミニウム製樹脂製	・シーリング材 ・ガasket ・グレンジングチャンネル形	※製造所の仕様による ・図示
銅製及び銅製軽量	・シーリング材	※製造所の仕様による ・図示
ステンレス製	・シーリング材	※製造所の仕様による ・図示

品質・性能 ※建築材料・設備機材等等品質性能評価による評価名簿記載の製品

[3.7][5.14.5]

表面形状 呼び寸法 厚さ 色調 目地幅(mm) 伸縮調整目地(mm) 耐火性能
・125×125 80 クリア 乳白 平積み 曲面積み
・160×160 95 125
・200×200 95 125
・320×320 95
・250×125 80
・320×160 95
曲面積みの曲率半径は、ガラスブロックの幅寸法の10倍以上とする。
壁用金属枠及び補強材 ・設ける(形状 ※図示) ・設けない
石膏 材質 ※ステンレス鋼(SUS304) ・図示
寸法 ※径5.5mm ・図示
形状 ※はしご形状複筋及び単筋 ・図示
化粧目地モルタルの色()
シーリング材 ・横仕表9.7.1の被着体の組合せで適合するもの
金属製化能力バー 材質 ・ステンレス製 ・アルミニウム製
寸法、形状 ※図示
工法
耐風圧性能(建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法)
※適用する(1ー般共通事項により製造所の指定による) ・適用しない
目地部の石膏の補強方法
※ガラスブロック製造所の仕様による ・図示

16. ガラスブロック

17. ガラス用フィルム

名 称 種 類 張り面 性能値
・ガラス飛散防止フィルム GS ※内張り ・外張り 飛散防止率01
・日射調整フィルム
品質 JIS A 5759による

⑤ 内装改修工事

① 改修範囲等

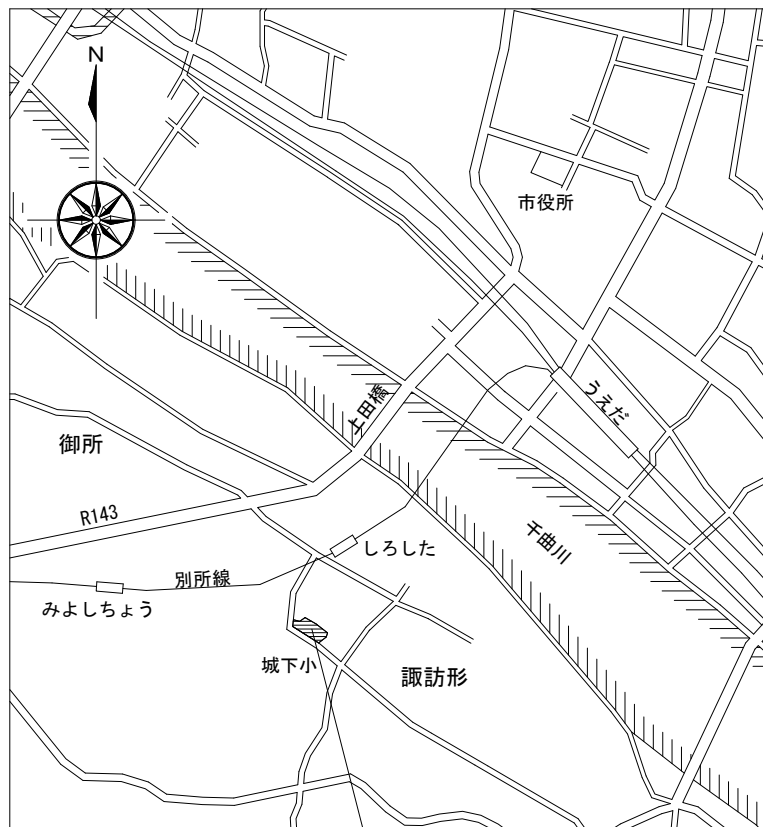
既存開口壁の撤去に伴う当該壁の取り合い天井、壁及び床の改修範囲
※ 壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示
天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲
※ 壁面より両側600mm 程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示
天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修
※ 既存のまま ・図示

[6.1.3]

2. 既存

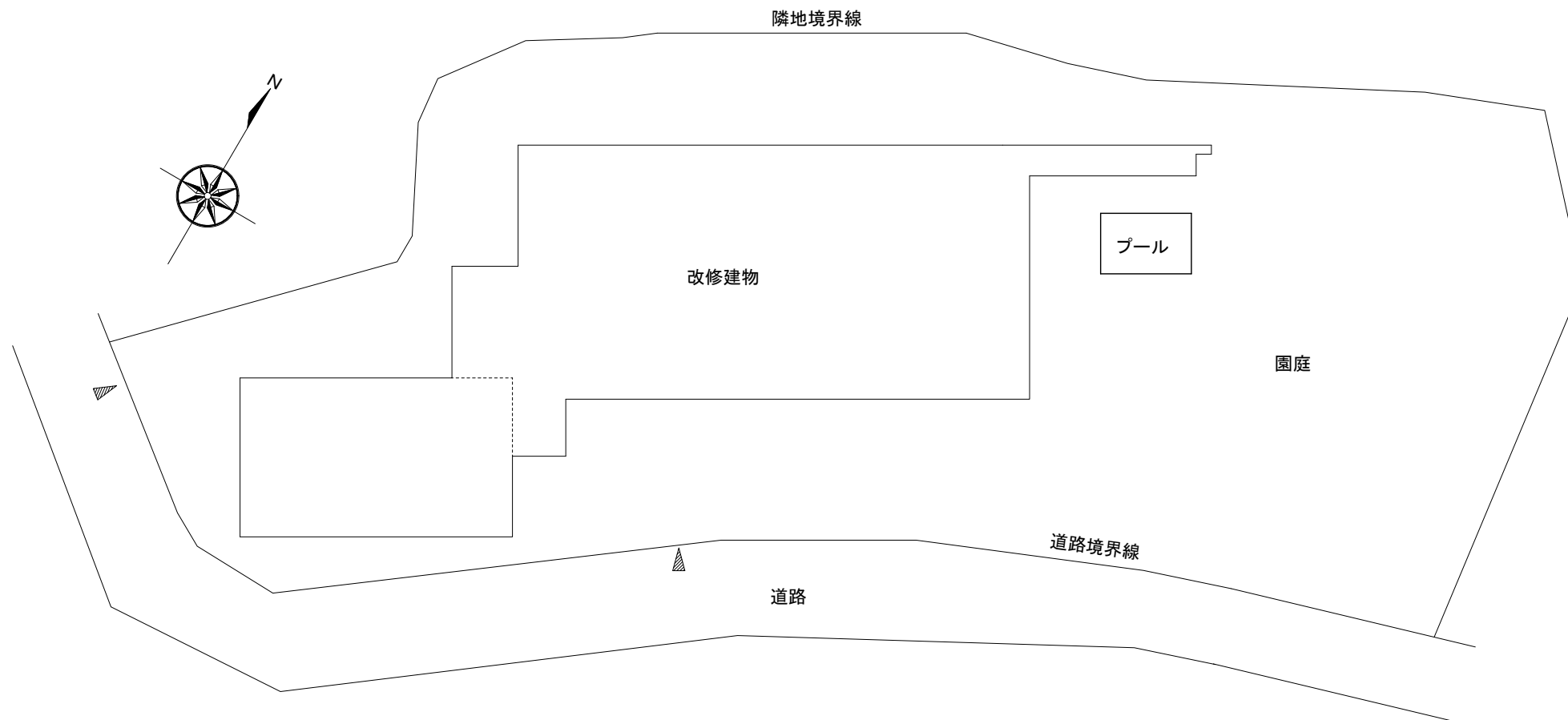
 上田市都市建設部建築課	事業年度		事業名	保育所施設整備事業 城下保育園長寿命化工事	SCALE	No Scale	No. A-04
	R-08		図名	建築改修工事 特記仕様書 4			

案内図



城下保育園

敷地案内図



配置図



上田市都市建設部建築課

事業年度
R-08

Atelier Hues of the Wind
一般建築士事務所
有限会社 設計工房風の色

設計事務所 長野県知事登録 (上田)E第74101号
名称 有限会社 設計工房風の色
住所 上田市箕田町本原2113-1
代表者 飯島康男

設計者 1級建築士
国土交通大臣登録
第187506号
飯島康男

事業名
図名

保育所施設整備事業 城下保育園長寿命化工事
敷地案内図・配置図

SCALE
S=1:200

NO.
A-06

外 部 仕 上	
仕 上 ヶ 所	既 存 仕 上 内 容
屋 根	カラー折板t=0.8 丸ハゼ 断熱付
バルコニー	モルタル金ゴテ ウレタン防水
外 階 段	同 上 、磁器ノンスリップタイル
犬 走 り	モルタル金ゴテ プールコート塗り
すべり台	FRP製
ポ ー チ	磁器100角タイル貼 (R付)
柱・梁影	コンクリート打放しの上 吹き付けタイルローラー仕上
外 壁	コンクリート打放し補修の上 アクリルリシン吹付
バラベツト	コンクリート打放し補修の上 吹付タイルローラー仕上
玄関袖壁	磁器小口タイル貼り (ヨウ変)
バラベツト笠木	アルミニウムt=1.5加工
バラベツト2 F樋	アスファルト防水 (非歩行用)
バラベツトR F樋	F R P 防水
同上ルーフドレイン	アスファルト防水用 100タイプ
バルコニー笠木	防水モルタル金ゴテ
同上 ドレイン	中継用 100タイプ
同上 手すり	ステンレスt=1.5
外階段 手すり	同 上
堅 樋	WGP-100 O.P 受金物F-B-3×50@1500内外
エントツ障子	R-3 2加工 耐熱塗装
アクリルドーム	保育棟廊下：900×900 2ヶ所、遊戯室：1300×1300 4ヶ所、乳白色
遊戯室天井裏	ロックウールフェルトt=25貼 (吸音石膏ボードのみ)
塗装記号	O.P：油性ペイント V.P：塩ビ系ペイント V.E.P：塩ビ系エマルションペイント S.L：オイルステイン、ラッカー仕上 C.L：クリヤラッカー

外部仕上	
仕上ヶ所	解体工事内容
屋 根	下地調整ＲＢ種
バルコニー	今回工事無し
外 階 段	既存劣化部分撤去、樹脂モルタル補修
犬 走 り	今回工事無し
すべり台	破損部補修
ポ ー チ	今回工事無し
柱 ・ 梁 形	目地補修（低圧エポキシ注入）外壁補修工事に含む
外 壁	目地補修（低圧エポキシ注入）外壁補修工事に含む
バラベツト	目地補修（低圧エポキシ注入）外壁補修工事に含む
玄関袖壁	今回工事無し
バラベツト笠木	解体工事無し
バラベツト２Ｆ種	既存アスファルト防水解体処分
バラベツトＲＦ種	既存ＦＲＰ防水存置、洗浄、目荒らし（改修工事に含む）
同上ルーフドレイン	解体工事無し
バルコニー笠木	解体工事無し
同上 ドレイン	中継用 100タイプ
同上 手すり	今回工事無し
外階段 手すり	今回工事無し
壁 種	下地調整ＲＢ種 ３種ケレンＡ（塗装工事に含む）
エントツ陸金	今回工事無し
アクリルドーム	今回工事無し
遊戯室天井裏	今回工事無し

仕上ヶ所	改修仕上内容
屋 根	防錆塗装C種クロムフリー、DP塗装2級（アクリルシリコン）
バルコニー	今回工事無し
外 階 段	防滑性階段用床材張り、タキストロンタフスリッパ（t=2.5）+タキステップ（t=4.2）同等
犬 走 り	今回工事無し
すべり台	F R P 防水
ポ ー チ	今回工事無し
柱 ・ 梁 形	高圧洗浄、可とう形改修塗り材 E（ウレタン）
外 壁	高圧洗浄、可とう形改修塗り材 E（ウレタン）
バラベット	高圧洗浄、可とう形改修塗り材 E（ウレタン）
玄関袖壁	今回工事無し
バラベット笠木	縦ぎ手部分コーキング工事
バラベット2 F 樋	ウレタン防水（X-2 密着工法）
バラベット R F 樋	F R P 防水（重ね塗り）
同上ルーフドレイン	改修用ドレイン縦型取付け
バルコニー笠木	解体工事無し
同上 ドレイン	今回工事無し
同上 手すり	今回工事無し
外階段 手すり	今回工事無し
堅 樋	防錆塗装C種クロムフリー、DP塗装（アクリルシリコン）
エントツ障傘	今回工事無し
アクリルドーム	今回工事無し
遊戯室天井裏	今回工事無し

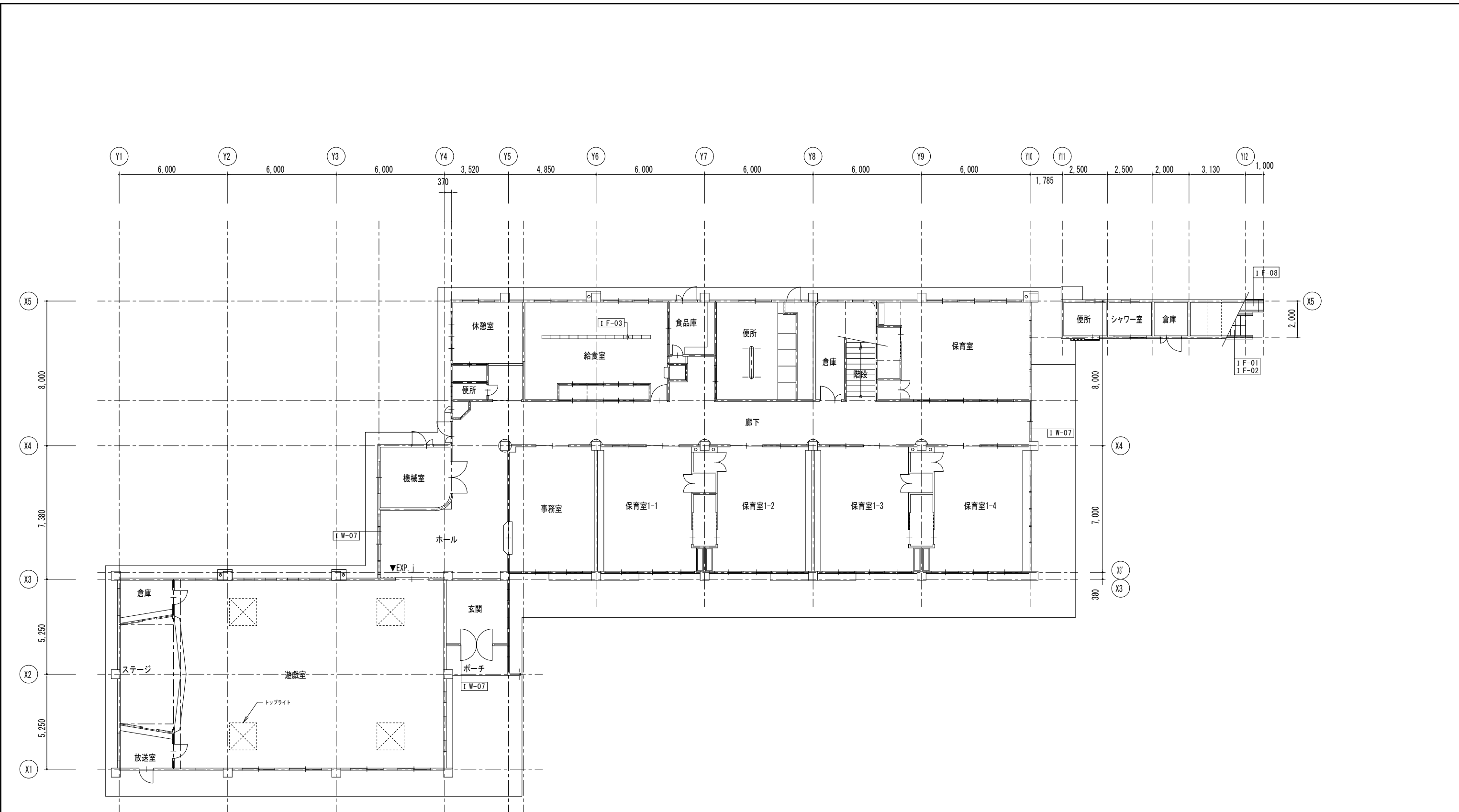
[illegible]

	今回の工事対象部分を示す
	今回の工事の非対象部分を示す

[illegible]

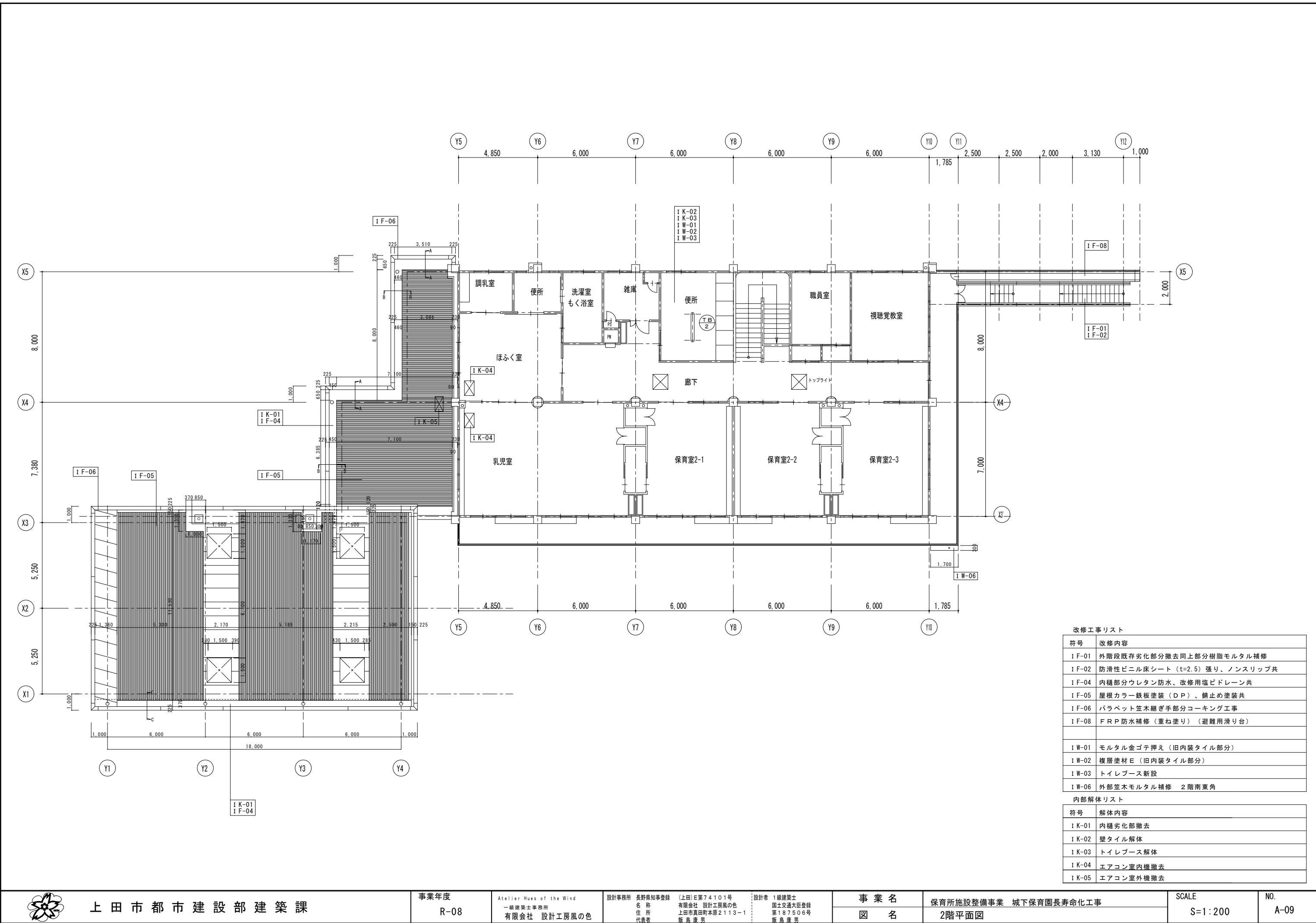
内部仕上		
仕上 ヶ所	改修仕上内容	
床		
	今回工事無し	
	今回工事無し	
	今回工事無し	
	対象無し	
	今回工事無し	
	今回工事無し	
	今回工事無し	
	今回工事無し	
	今回工事無し	
	今回工事無し	
	今回工事無し	
巾木	今回工事無し	
	今回工事無し	
	今回工事無し	
	今回工事無し	
	今回工事無し	
壁	今回工事無し	不燃材
	今回工事無し	不燃材
	今回工事無し	不燃材
	対象無し	不燃材
	今回工事無し	難燃材
	今回工事無し	
	今回工事無し	
	今回工事無し	
	モルタル金ゴテ下地複層塗材 E（1階便所は対象外）	
	今回工事無し	
	今回工事無し	
	今回工事無し	
天井	今回工事無し	不燃材
	今回工事無し	不燃材
	今回工事無し	
	今回工事無し	
	今回工事無し	不燃材
	今回工事無し	
	今回工事無し	

※使用する壁紙は全て不燃仕様とする



改修工事リスト	
符号	改修内容
I F-01	外階段既存劣化部分撤去同上部分樹脂モルタル補修
I F-02	防滑性ビニル床シート (t=2.5) 張り、ノンスリップ共
I F-03	床排水金物周り補修 (給食室)
I F-08	F R P 防水補修 (重ね塗り) (避難用滑り台)
I W-07	排煙窓修繕





上田市都市建設部建築課

事業年度
R-08

Atelier Hues of the Wind
一般建築士事務所
有限会社 設計工房風の色

設計事務所 長野県知事登録 (上田)E第74101号
名称 有限会社 設計工房風の色
住所 上田市真田町本原2113-1
代表者 飯島康男

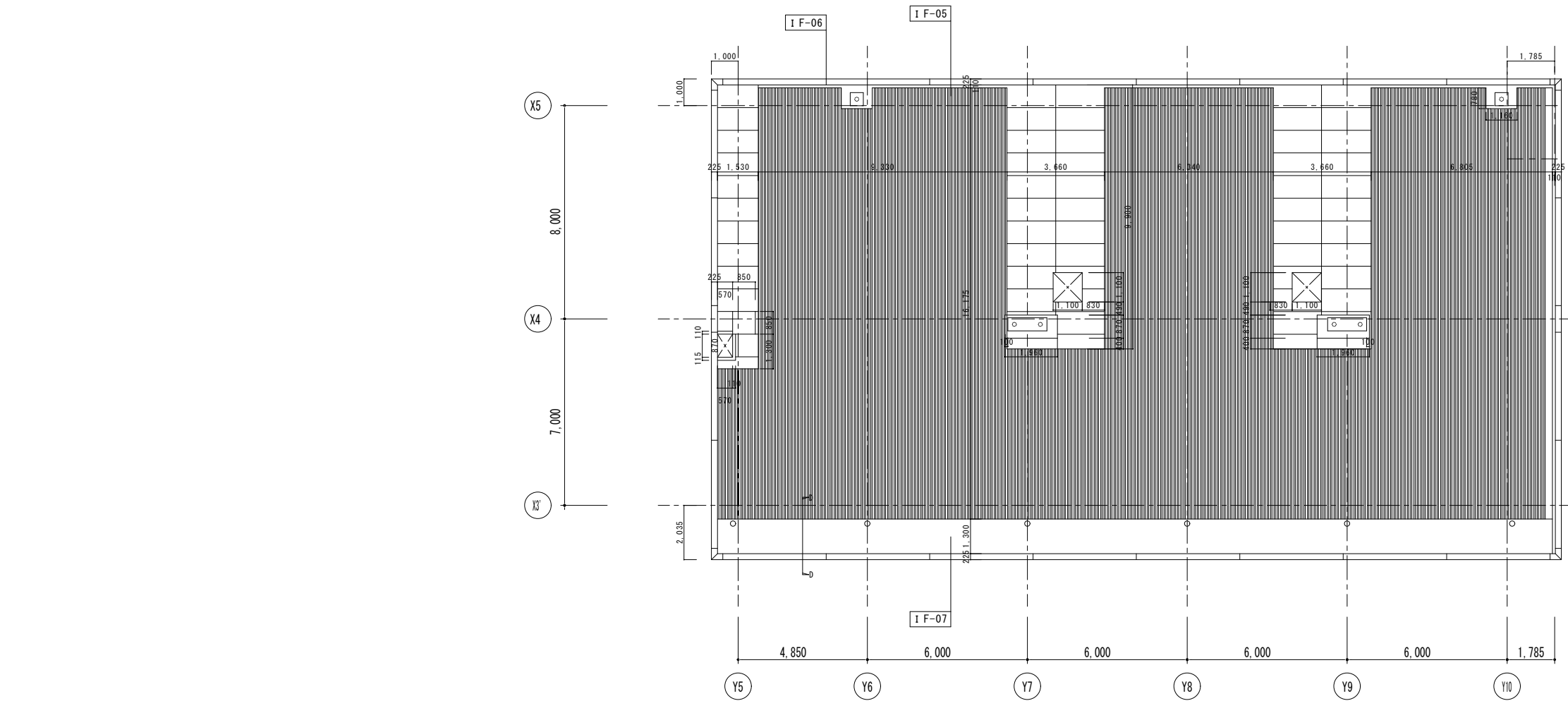
設計者 1級建築士
国土交通大臣登録
第187506号
飯島康男

事業名
図名

保育所施設整備事業 城下保育園長寿命化工事
2階平面図

SCALE
S=1:200

NO.
A-09



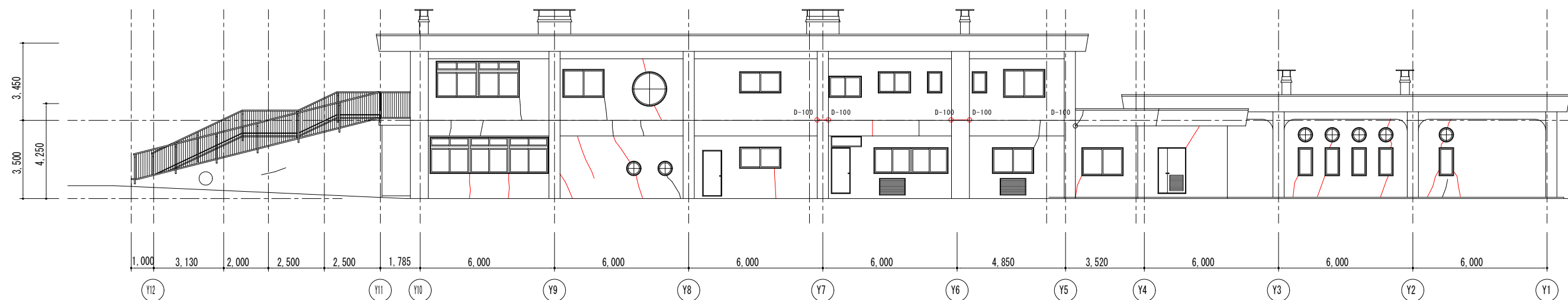
改修工事リスト	
符号	改修内容
I F-05	屋根カラー鉄板塗装
I F-06	バラベツト笠木継ぎ手材修理、改修コーキング工事
I F-07	F R P 防水補修（屋上部部分）



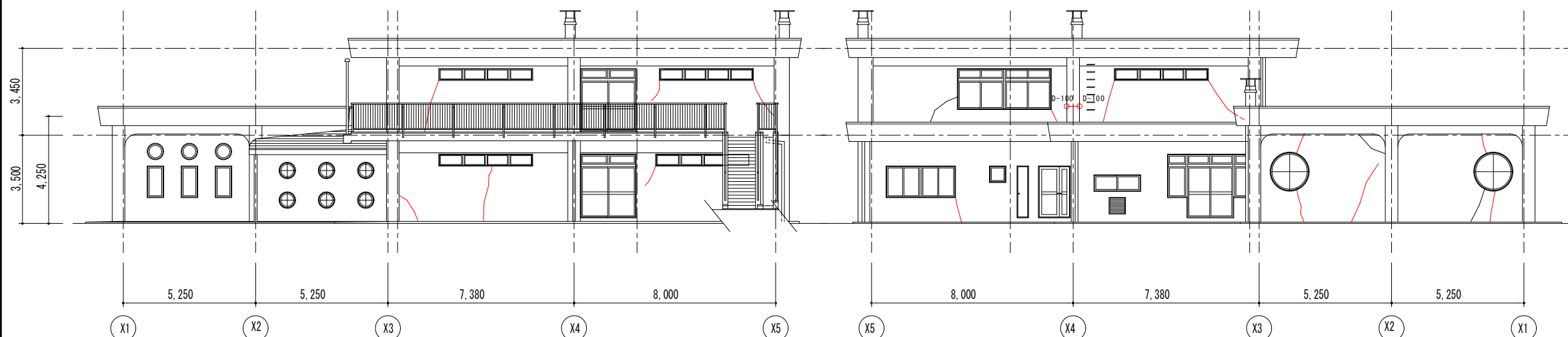
0.5以下のひび
0.5以上のひび (I W-04)



南側立面図



北側立面図



東側立面図

西側立面図

改修工事リスト	
符号	改修内容
I W-04	外壁クラック補修
I W-05	外壁可とう形改修塗り材 E
I W-08	縦樋塗装 (D P)、錆止め塗装 共



上田市都市建設部建築課

事業年度
R-08

Atelier Hues of the Wind
一級建築士事務所
有限会社 設計工房風の色

設計事務所 長野県知事登録 (上田)E第74101号
名称 有限会社 設計工房風の色
住所 上田市真田町本原2113-1
代表者 飯島康男

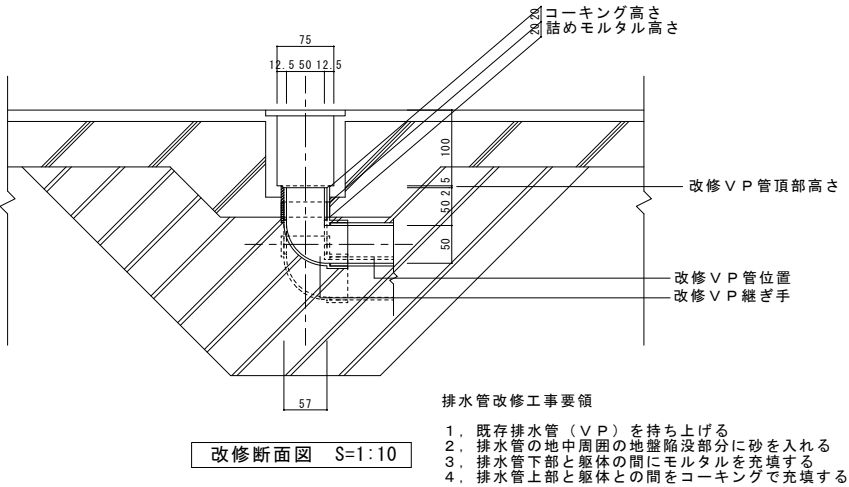
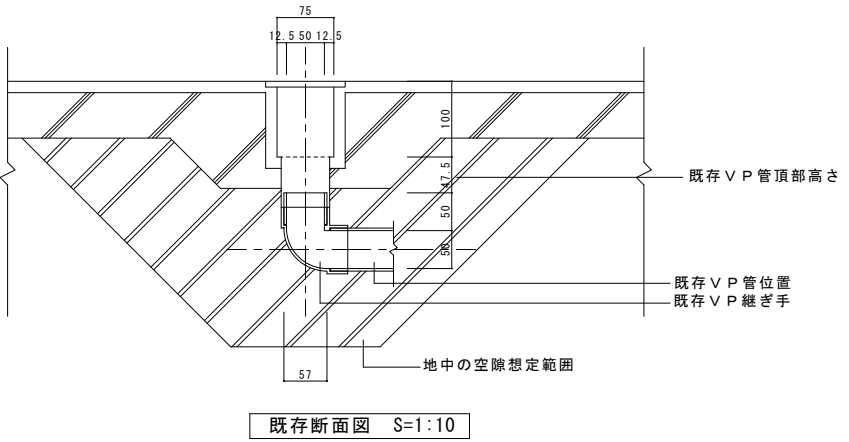
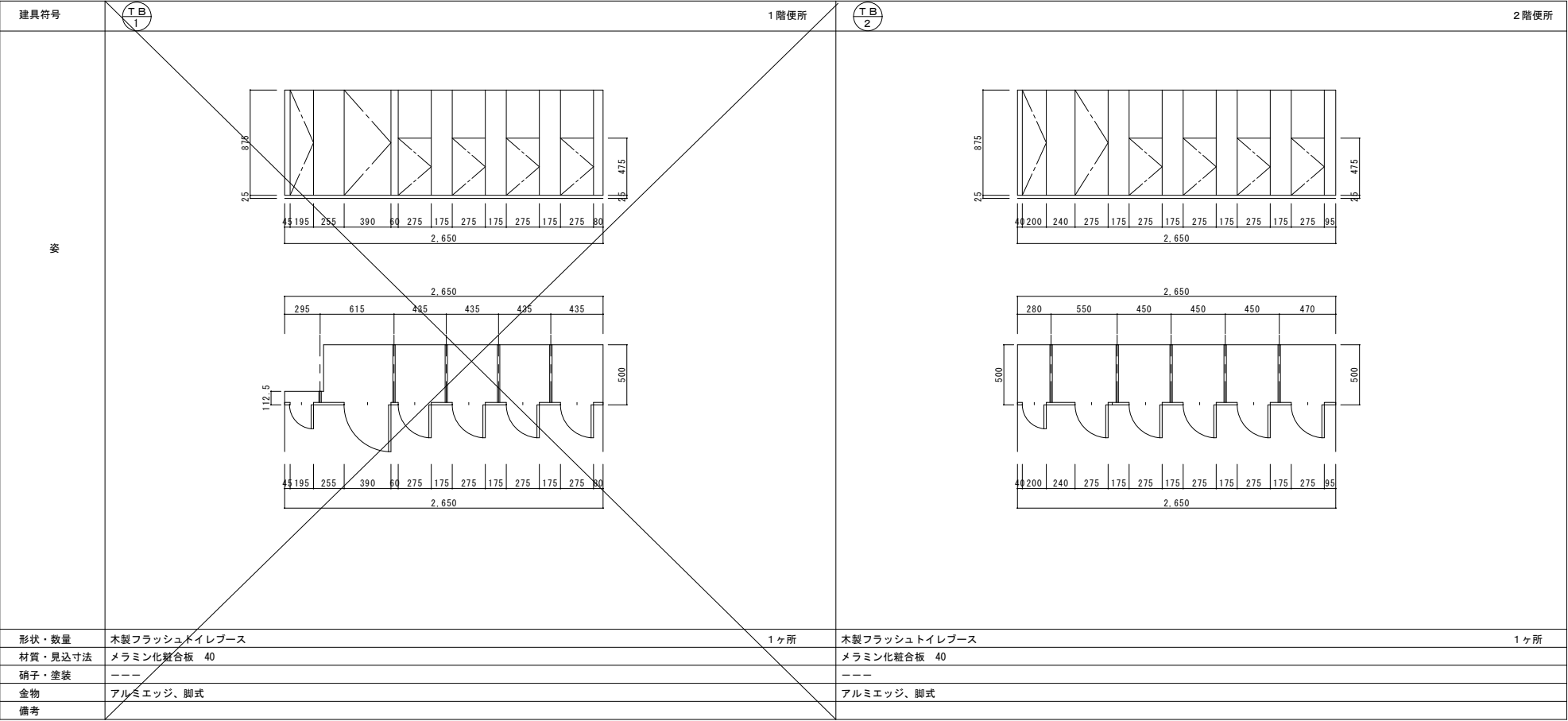
設計者 1級建築士
国土交通大臣登録
第187506号
飯島康男

事業名
図名

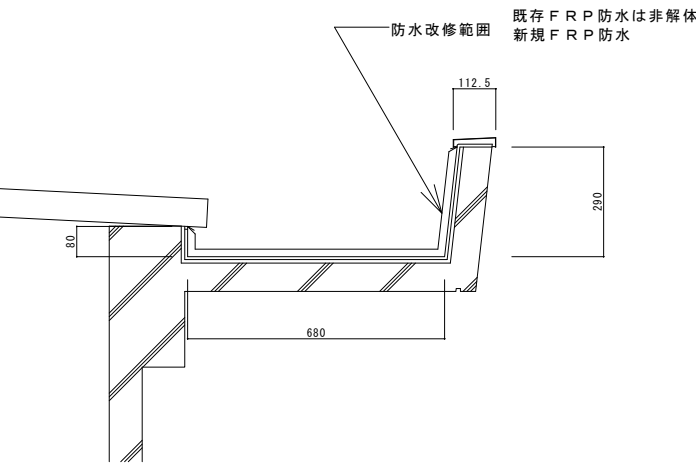
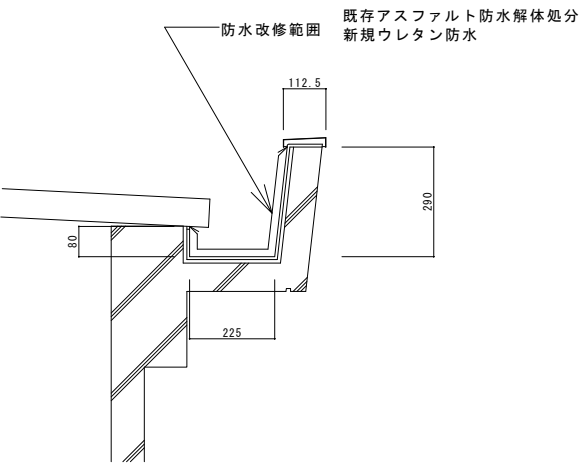
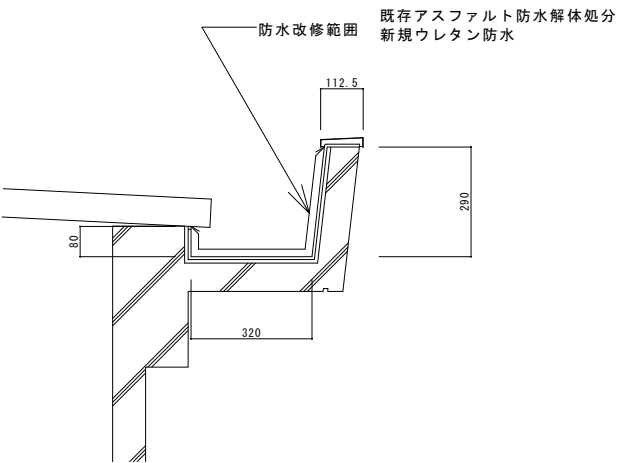
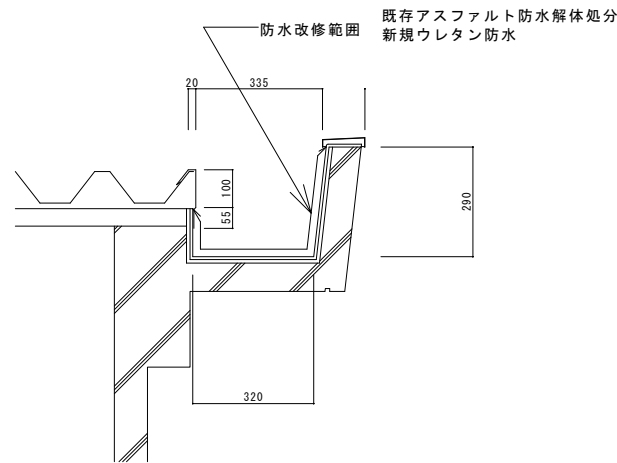
保育所施設整備事業 城下保育園長寿命化工事
立面図

SCALE
S=1:200

NO.
A-11



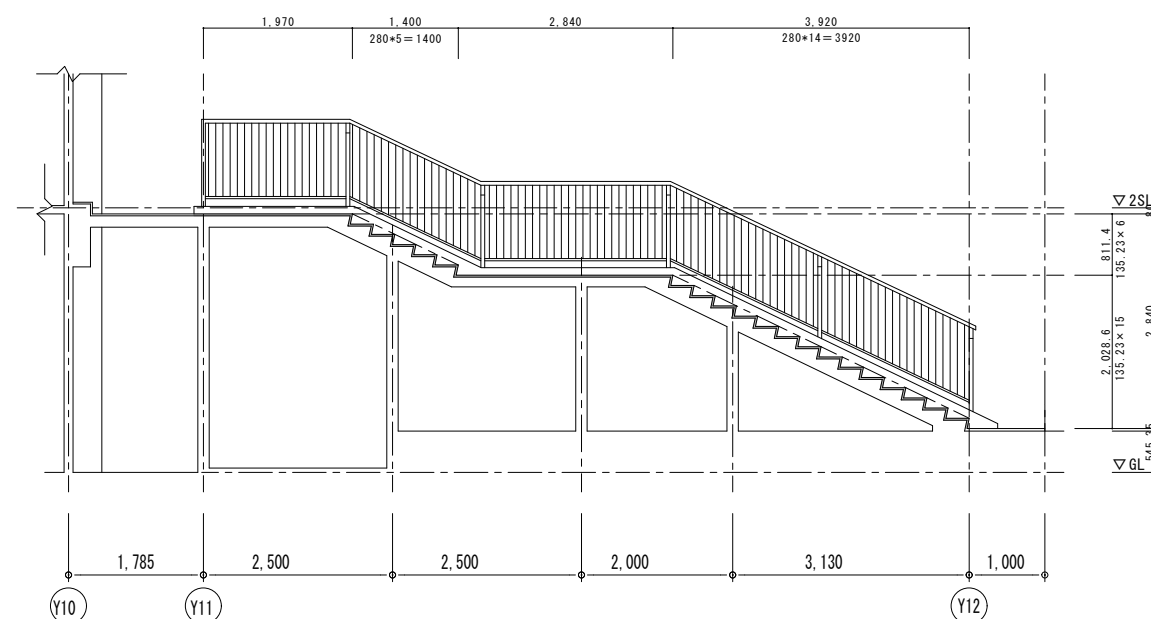
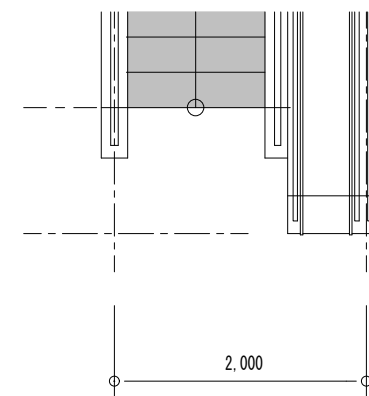
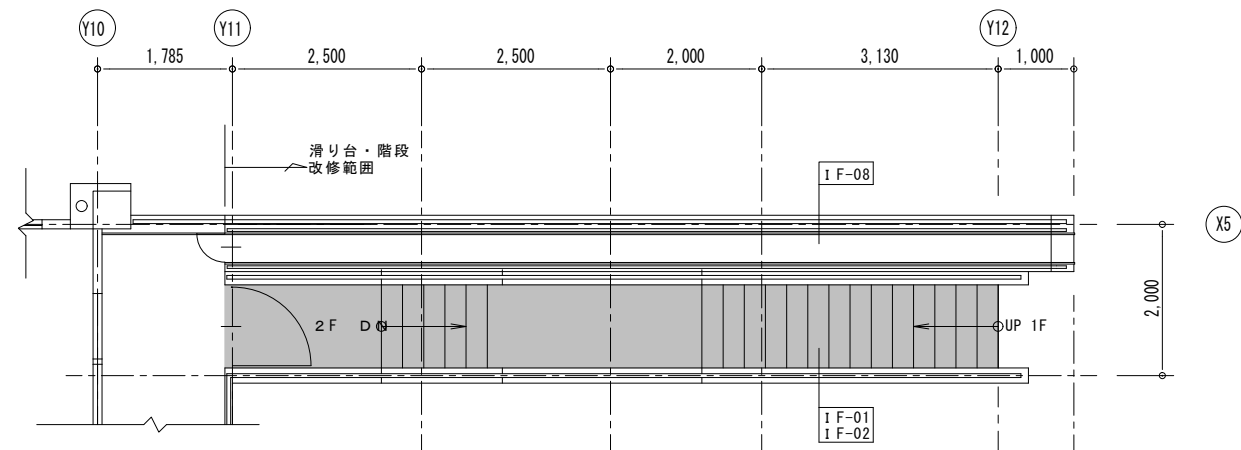
IF-03 床排水金物周り補修（給食堂） 詳細図



改修要領 IF-04 ウレタン防水

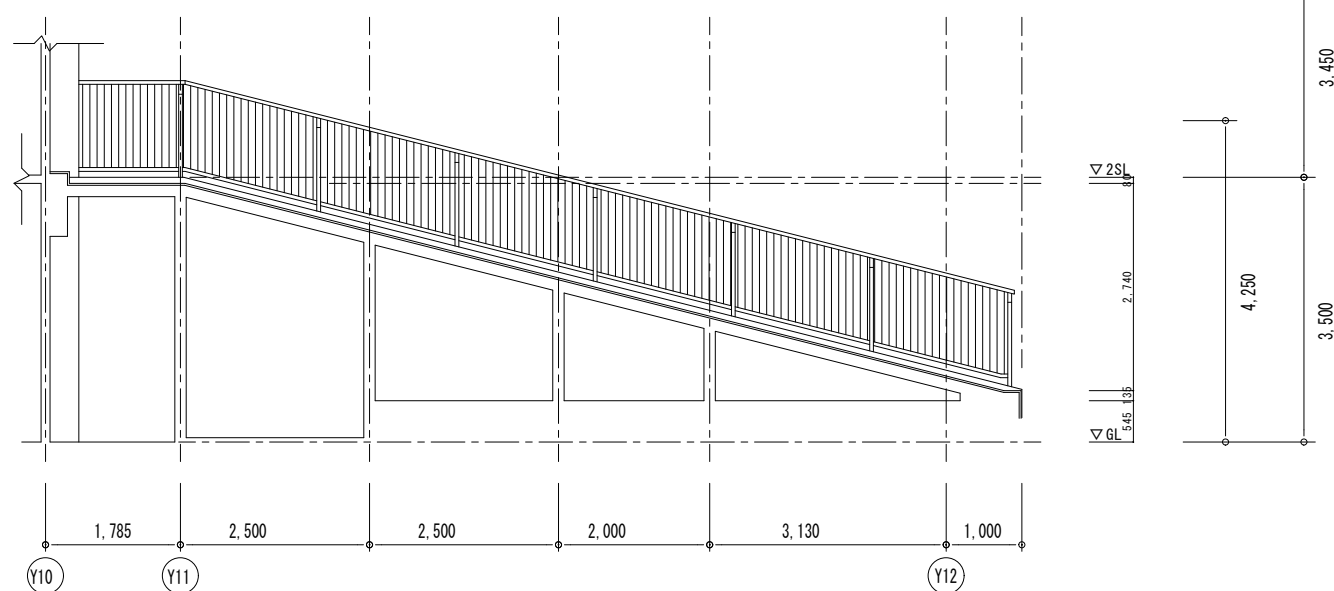
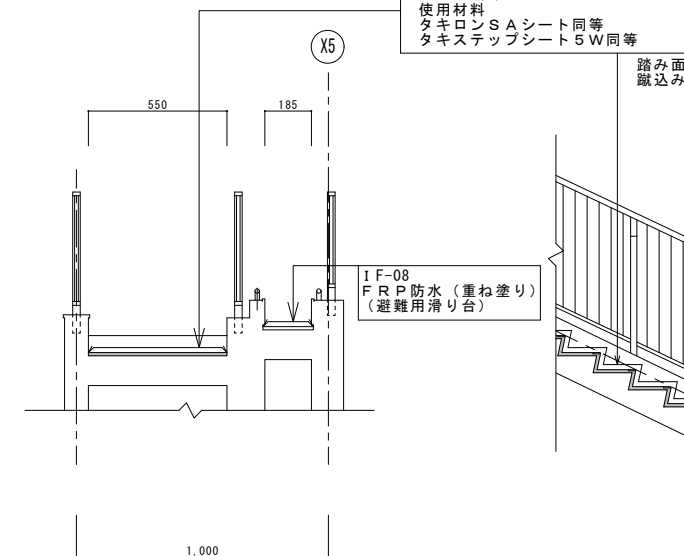
改修要領 IF-07 FRP防水





1 F-01
既存劣化部分撤去
同上部分樹脂モルタル補修
1 F-02
階段ササラ部分ウレタン防水
踏み面、蹴込み、踊り場、2階床
防滑性ビニル床シート (t=2.5) 張り
ノンスリップ共
シート端部シール
使用材料
タキロンSAシート同等
タキステップシートGW同等

踏み面280+20
蹴込み135.23



上田市都市建設部建築課

事業年度
R-08

Atelier Hues of the Wind
一般建築士事務所
有限会社 設計工房風の色

設計事務所 長野県知事登録 (上田)E第74101号
名称 有限会社 設計工房風の色
住所 上田市真田町本原2113-1
代表者 飯島康男

設計者 1級建築士
国土交通大臣登録
第187506号
飯島康男

事業名
図名

保育所施設整備事業 城下保育園長寿命化工事
外階段図

SCALE
S=1:50
S=1:30

NO.
A-13